

大阪マラソン組織委員会(第26回)

日 時 平成31年2月12日(火) 10時30分～

場 所 シティプラザ大阪 2階 燦

出席者 (別紙のとおり)

次 第 ○ はじめに

○議 事

1 第8回大阪マラソンの結果報告について

2 第9回大阪マラソンについて

(1) 新マラソンコースについて

(2) 制限時間・ウェーブスタートについて

(3) 大会要項について

(4) ランナー募集について

(5) ランナー募集ポスターについて

(6) チャリティ事業について

(7) ボランティアについて

(8) マナーアップの取組強化について

(9) 今後の主なスケジュールについて

○ その他

【配布資料一覧】

- | | |
|------------------------------|---------|
| ■ 第8回大阪マラソンの結果報告について | 《資料1》 |
| 第8回大阪マラソン参加ランナー・観客への調査結果(抜粋) | 《資料1-1》 |
| ■ 新マラソンコースについて | 《資料2》 |
| ■ 制限時間・ウェーブスタートについて | 《資料3》 |
| ■ 第9回大阪マラソン 大会要項概要(案) | 《資料4》 |
| ■ ランナー募集について | 《資料5》 |
| ■ ランナー募集ポスターについて | 《資料6》 |
| ■ チャリティ事業について | 《資料7》 |
| ■ ボランティアについて | 《資料8》 |
| ■ ランナーのマナーアップの取組強化について | 《資料9》 |
| ■ 今後の主なスケジュールについて | 《資料10》 |

第8回大阪マラソンの結果報告について

- 1 大会名 「第8回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2018～」
- 2 開催日 平成30年11月25日（日）
- 3 主催 大阪府・大阪市・一般財団法人大阪陸上競技協会
- 4 共催 読売新聞社
- 5 主管 一般財団法人大阪陸上競技協会
- 6 運営協力 大阪パラ陸上競技協会
- 7 後援
- 31 団体
- 公益財団法人日本陸上競技連盟、大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益財団法人大阪観光局、公益財団法人大阪体育協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市体育協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、社会福祉法人読売光と愛の事業団、特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、株式会社毎日放送、読売テレビ放送株式会社 <順不同>
- ※スポンサー 株式会社ケイ・オブティコム
- ※スポンサー
- 20 企業
- ミスノ株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、大阪市高速電気軌道株式会社、セイコーホールディングス株式会社、関西大学、読売新聞社、株式会社アドバンスクリエイト、第一生命保険株式会社、株式会社近畿日本ツーリスト関西、株式会社フォトクリエイト、日本通運株式会社、トヨタ自動車株式会社、住友電気工業株式会社、岩谷産業株式会社、コスモ警備保障株式会社、日清製粉グループ、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル,Inc. <順不同>
- ※サポーター 株式会社 FM802、株式会社 SWAC、井村屋株式会社、株式会社青木松風庵、株式会社神戸屋、株式会社瓢月堂、紀州田辺うめ振

興協議会、江崎グリコ株式会社、株式会社Mon cher（モンシェール） <順不同>

8 種 目 マラソン (1)登録 (2)一般 (3)車いす
併設レース：チャレンジラン [8.8km]

9 参加者等

	マラソン (42.195 km)	チャレンジラン (8.8 km)	合 計
定 員	30,000人	2,000人	32,000人
エントリー (H30.4.6~5.11)	120,827人	6,930人	127,757人
出走者数	30,238人 (車いす16人含む)	2,025人	32,263人
完走者数	29,314人 (車いす15人含む)	1,981人	31,295人
完走率	96.9%	97.8%	97.0%

《参考：出走者ベース》

(1) 国内都道府県別 (国内参加：27,599人)

① 大阪府 (12,236人[44.3%]) ② 兵庫県 (3,661人[13.3%])

③ 東京都 (1,696人[6.2%])

(2) 国外居住地別 (国外からの参加：4,664人)

①香港 (1,412人) ② 台湾 (1,008人) ③ タイ (732人)

④中国 (277人) ⑤大韓民国 (221人)

(3) 完走者最高年齢 (フルマラソン)

男性：83歳、女性：82歳(参考：チャレンジランは男性83歳、女性84歳)

10 参加ボランティア 延べ10,010人

(内訳)コース管理等：8,587人、マラソンEXPO：1,211人、力持ちボランティア(自転車運搬補助業務)：109人、Happy Morning Run：103人

11 制限時間 7時間

12 コース スタート : 大阪城公園前
フィニッシュ：インテックス大阪
主な通過点 : 御堂筋・道頓堀・中之島・大阪市中央公会堂
京セラドーム大阪・なんば駅・通天閣周辺
南港周辺など

※公益財団法人日本陸上競技連盟及び

AIMS (国際マラソン・ロードレース協会) 公認コース

13 総事業費 約 13.9 億円

14 その他

①給水《給水所：15カ所》

(スポーツドリンク：2ℓ：16,980本、500mℓ：37,728本)

(清涼飲料水：1.5ℓ・2ℓ：3,250本)

(水：2ℓ：29,940本)

②給食《給食所：5カ所》

(バナナ：30,300本、一口パン：39,800個、

塩タブレット：15,000個、バラ栄養食ケーキ：16,800個

ｽｰｯようかん・乾燥梅肉ｼｰｯ・みるく饅頭各1万個等)

※32.5 km地点では大阪市商店会総連盟が大阪マラソン公式給食エ
イドを運営(おやついなり、プチトマト、たこ焼きなどを提供)

③仮設トイレ等 803基

④大阪マラソン沿道応援イベント『ランナー盛上げ隊!』

(コース沿道14カ所、出演団体：59団体、応援団・

ﾌﾞｰﾝﾃﾞｲﾝｸﾞ・ダンス・踊り(よさこい等)・吹奏楽など)

⑤沿道人数 1,300,000人

⑥苦情件数 19件

⑦問い合わせ件数 127件

⑧医事・救護

救護所利用件数：1,095件

(AED使用件数：1件、救急搬送件数：14件)

※救護スタッフ877人

内訳：医師140人・看護師163人(ｽﾃｯﾌﾟｶﾙﾃﾞﾝﾅｰ含む)、
救急救命士20人、トレーナー110人 など

⑨テレビ中継

11/25

・毎日放送(MBS) 10:00~11:24 視聴率6.6%

・読売テレビ(YTV) 12:35~13:00 視聴率5.7%

16:30~17:30 視聴率3.7%

・eo光ﾌﾞﾗｯｸ 8:40~16:10

【大阪マラソン EXPO2018】

1 日 程 平成30年11月23日(金・祝)~25日(日)

2 時 間 11:00~20:00

(ただし25日は10:00~17:00・16:30最終入場)

3 場 所 インテックス大阪1・2・3号館(25日は1号館のみ)

4 出展社数 106社(企業ブース61社、うまいもん市場45社)

5 入場者数 125,000人

大阪マラソン SEASON TRIAL 2018

【Happy Morning Run】

- 1 概 要：海外ランナー等へのおもてなし、国際交流を目的としたファンランイベント大会前日の土曜日の朝に大阪城公園西の丸庭園で開催
- 2 実施日時：平成30年11月24日（土）
8:00～10:00
- 3 場 所：大阪城公園
- 4 内 容：Fun RUN（2.8km）※表彰・計測なし
- 5 参加人数：455人



【チャリティ親子ラン】

- 1 概 要：子どもたちにも大阪マラソンの大フィナーレとなるフィニッシュゲートをくぐる楽しさを味わってもらえる親子ランニングイベント。
- 2 実施日時：平成30年11月25日（日）
15:00～15:50頃
- 2 場 所：インテックス大阪臨時第1駐車場～マラソンフィニッシュ地点
- 3 内 容：インテックス大阪臨時第1駐車場からフィニッシュゲートまでの親子ラン（1.2km）
- 4 参加人数：親子256組512人



【チャリティ募金】

区 分	金 額
ランナー参加料入金時の募金（個人@500円×2口以上）	53,722,500円
チャリティ親子ラン参加料入金時の募金	136,500円
なないろチャリティTシャツ販売による寄付金	18,592,000円
なないろチャリティキャップ販売による寄付金	3,798,400円
チャリティウィンドブレーカー販売による寄付金	10,010,000円
なないろチャリティアームウォーマー	2,214,600円
ニックネーム入りナンバーカード販売による寄付金	439,200円
大阪マラソン特設サイト募金 （チャリティランナー（達成者774人）による寄付金額含む）	59,127,118円
府内商店街等との連携イベント等での募金	25,151円
スポンサーにおける募金	184,472円
大阪マラソン EXPO2018のチャリティナー等での募金 （西日本豪雨災害に対する義援金基金を除く）	1,046,372円
チャリティオークション（11/24 大阪マラソン EXPO2018）	140,000円
コース沿道での募金（11/25）	92,982円
大阪マラソンチャリティ寄付先団体の募金活動による寄付金	593,633円
熊本地震災害による義援金募金 （6/17 10K&Fun RUN）	30,494円
西日本豪雨災害に対する義援金基金 （大阪マラソン EXPO2018のチャリティナー等での募金、大阪マラソン特設サイト募金）	409,015円
大阪スポーツ応援ランナー （大阪府、大阪市計477人）	47,811,000円
合 計	198,373,437円

《第8回大阪マラソン 競技結果》

1. 車いすの部 (男子)

	氏名	所属	記録
1位	にしだ ひろき 西田 宗城	バカパシフィック (株)	1時間27分42秒
2位	やまもと ひろゆき 山本 浩之	無所属	1時間31分56秒
3位	よしだ りょうた 吉田 竜太	SUS (株)	1時間33分51秒

2. マラソン男子の部

	氏名	所属	記録
1位	チャールズ・ムネキ	ケニア	2時間14分11秒
2位	いがらし しんご 五十嵐 眞悟	埼玉 城西大学クラブ	2時間14分19秒
3位	アブデナシル・ ファティ	モロッコ	2時間17分37秒

3. マラソン女子の部

	氏名	所属	記録
1位	サウド・カンブシア	モロッコ	2時間31分19秒 ※大会新
2位	やまぐち はるか 山口 遥	東京 AC・KITA	2時間34分12秒
3位	よしとみ ひろこ 吉富 博子	佐賀 メモリード	2時間34分39秒

【シカゴマラソン賞】

	氏名	記録	備考
男性1位	さかもと たかや 坂本 隆哉	2時間20分55秒	府在住者、第42回シカゴマ ラソン(2019.10.13)招待
女性1位	ほりおか ともこ 堀岡 智子	2時間48分06秒	

【市民ランナー賞】

	氏名	記録	備考
男性1位	いっか たける 一花 建	2時間20分34秒	招待選手、提携マラソン 代表選手は除く
女性1位	ほりおか ともこ 堀岡 智子	2時間48分06秒	

第8回大阪マラソン
参加ランナー・観客へのアンケート調査結果(抜粋)

大阪マラソン組織委員会

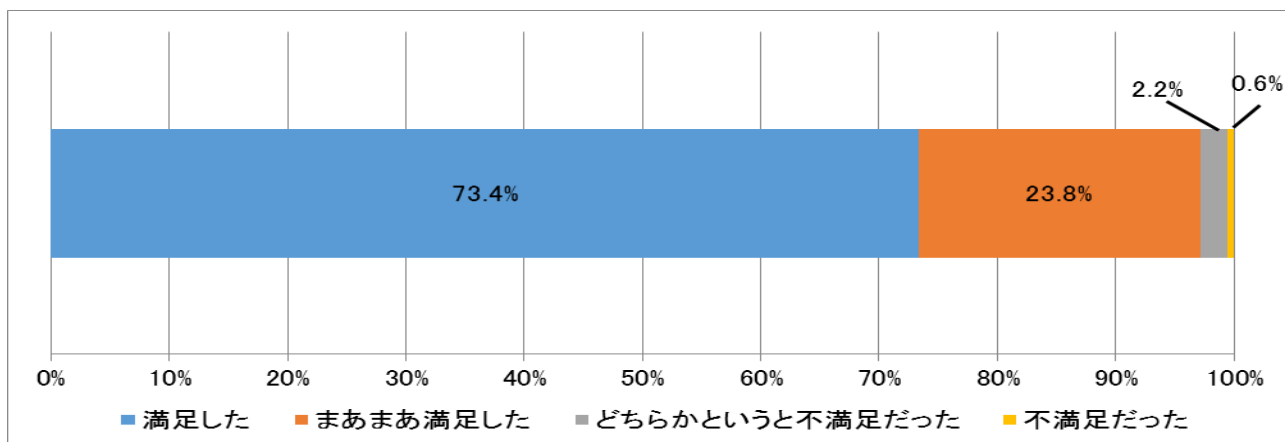
出典:第8回大阪マラソン共同調査研究(関西大学・読売新聞社)

本資料は、第8回大阪マラソンに参加したランナー、観客を対象に、大会参加の意識、大会運営に対する評価、チャリティマラソンの社会的意義などを明らかにすると同時に、大阪マラソンの課題を解決し、今後の大会運営に活かすことを目的とする「第8回大阪マラソン共同調査研究」結果を元に作成したものです。

なお、同研究は、大阪マラソン組織委員会が、読売新聞大阪本社と関西大学に共同調査研究を依頼したものです。

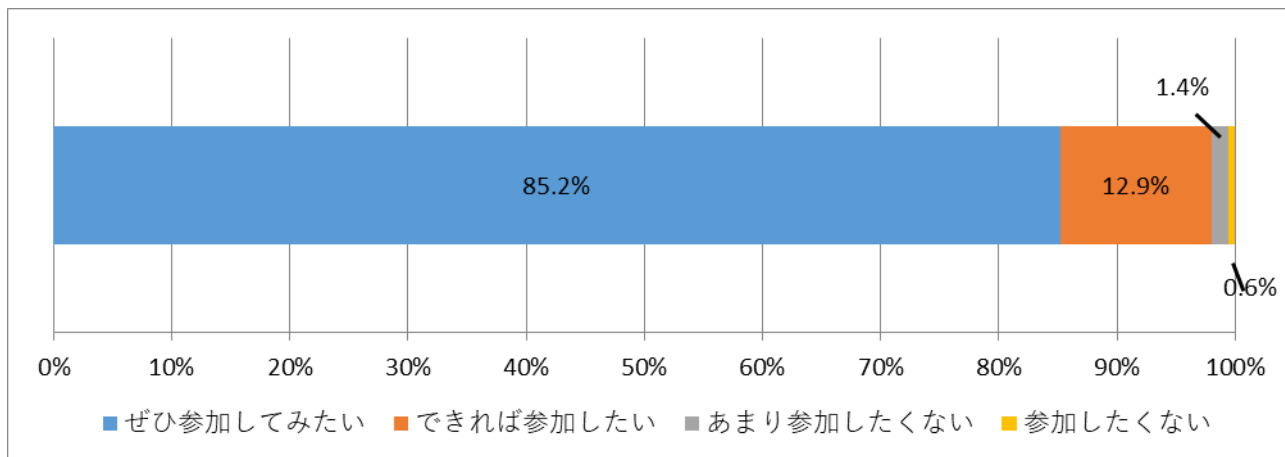
一般ランナー意識調査

■第8回大阪マラソンに満足しましたか？



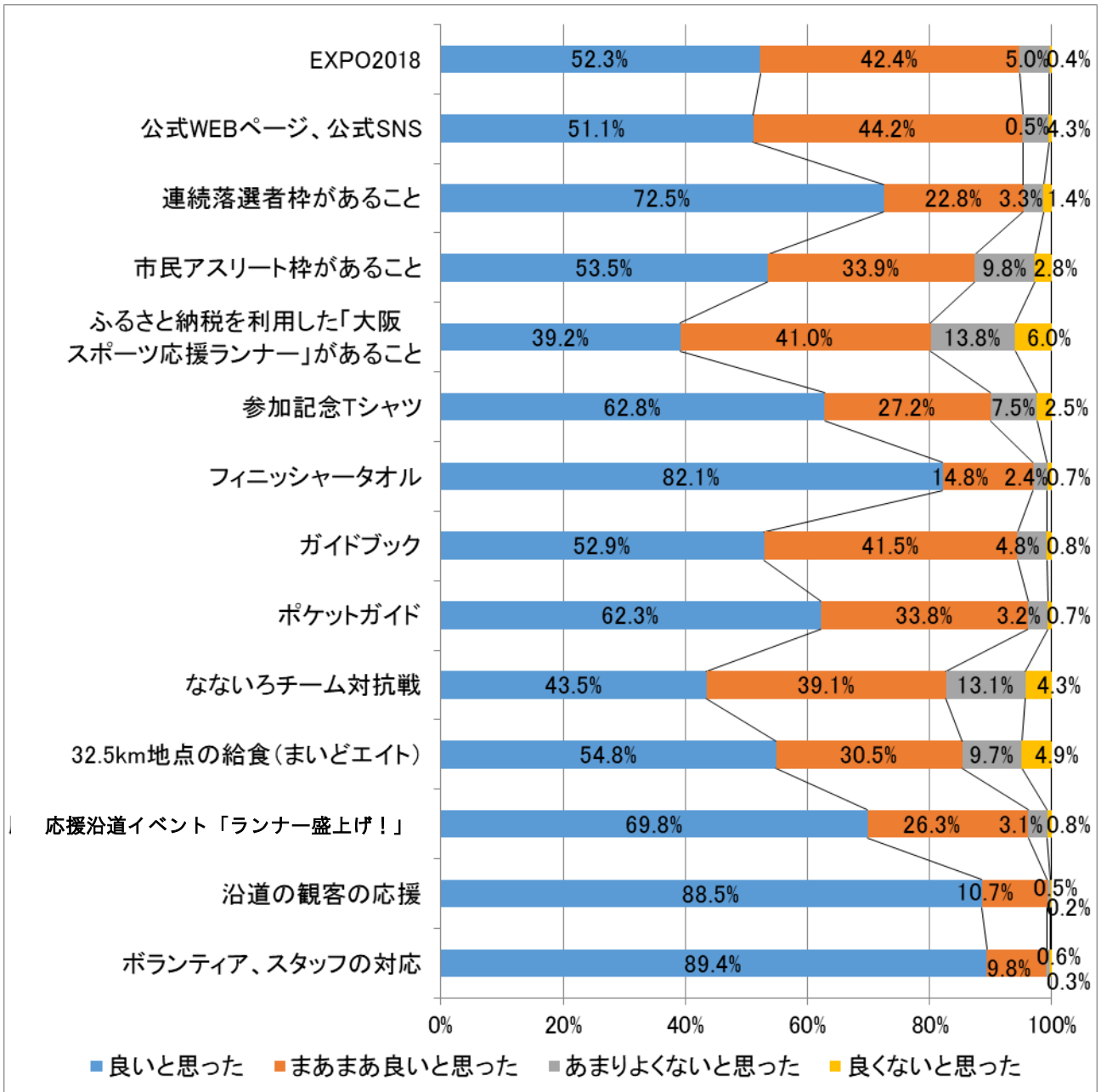
大会の評価について、「満足した」が 73.4% (昨年 70.0%) で、昨年よりも増加した。「まあまあ満足した」の 23.8% (昨年 27.1%) を加えると、97.2% (昨年 97.1%) であり、ランナーの満足度は向上しているといえる。

■第9回大阪マラソンに参加してみたいですか？



第 9 回マラソンへの参加について、「ぜひ参加してみたい」が 85.2% (昨年 80.1%) と昨年より増加しており、「できれば参加したい」の 12.9% (昨年 17.2%) を加えると、98.1% (昨年 97.3%) のランナーが参加したいと回答しており、リピート率は僅かに高まっているといえる。

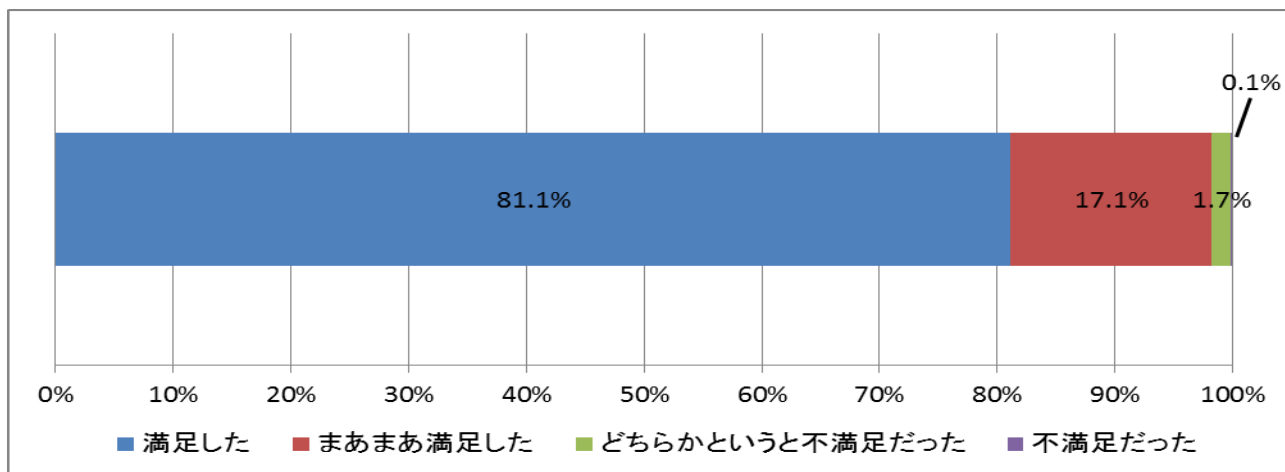
■第8回大阪マラソンの運営について、どのように思われますか？



大阪マラソンの運営について、「良いと思った」と回答した人の割合だけで見ると、「ボランティア、スタッフの対応」が89.4%(昨年91.3%)が最も高く、次いで「沿道の観客の応援」が88.5%(昨年88.7%)となっており、昨年と同様、9割近くのランナーに評価されている。これらは、市民マラソンで大切なホスピタリティが発揮されていて、リピーターの増加につながっていると考えられる。また、「フィニッシャータオル」が82.1%(昨年73.1%)、「参加記念Tシャツ」62.8%(昨年46.3%)、「連続落選者枠があること」72.5%(昨年68.6%)といずれも昨年より評価が高く、大阪マラソンの特徴的な運営も好評といえる。一方、「なないろチーム対抗戦」は43.5%(43.5%)と昨年に引き続き低い評価となっており、大阪マラソンにおける再検討が必要だと考えられる。

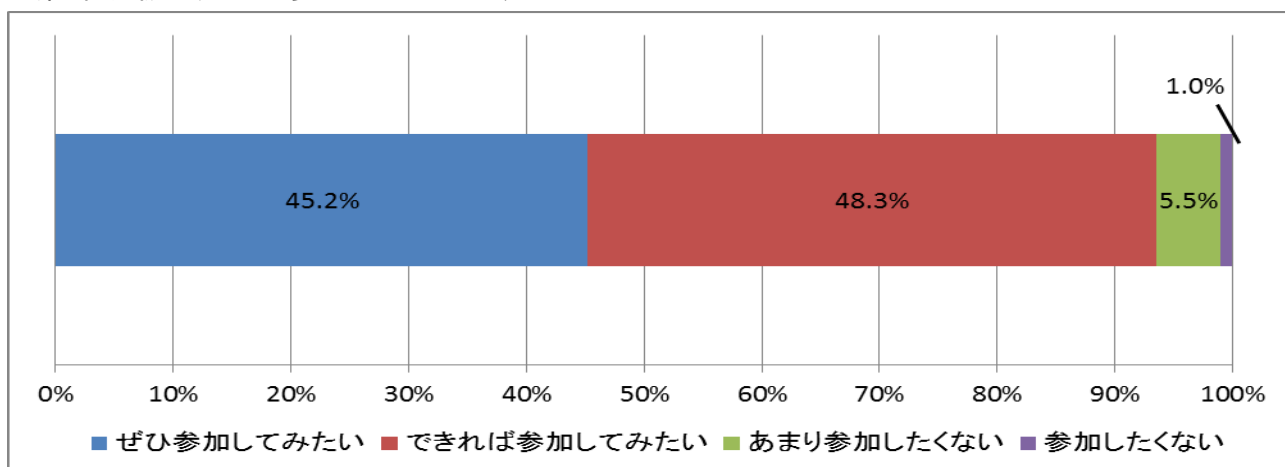
海外ランナー意識調査

■ 第8回大阪マラソンに満足しましたか？



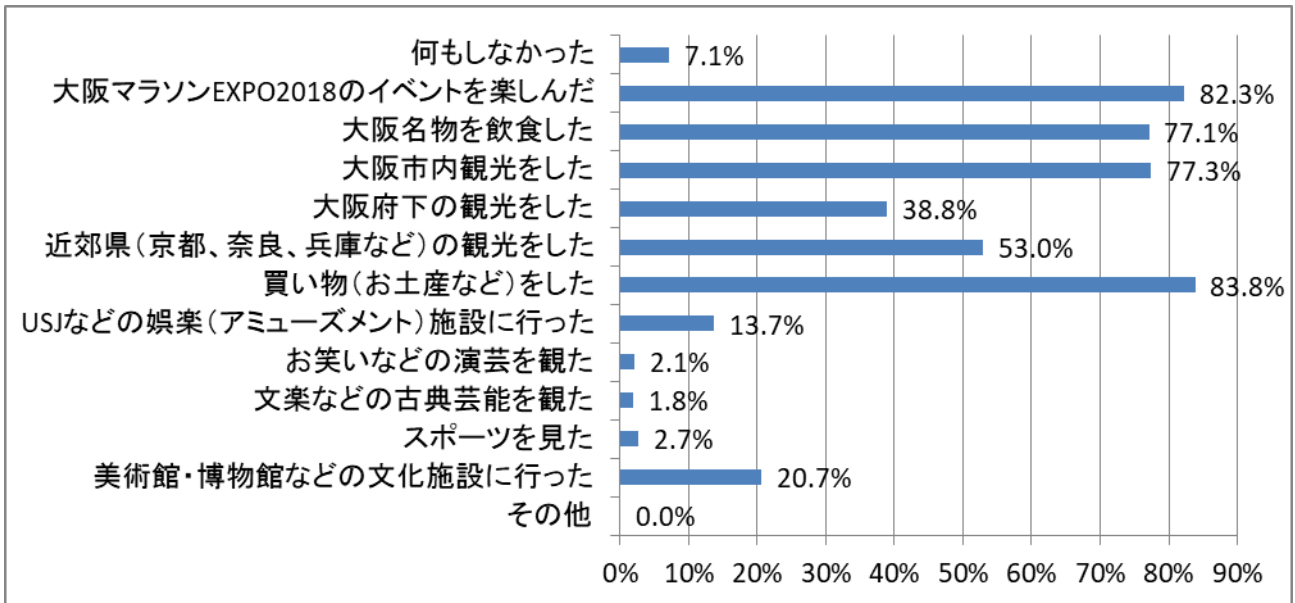
大会の評価について、「満足した」が 81.1%（日本 73.4%）で、日本人ランナーに比べて海外ランナーの方が満足度が高い。「まあまあ満足した」の 17.1%（日本 23.8%）を加えると、98.2%（日本 97.2%）であり日本人に比べて大会への満足度は少し高いといえる。

■ 第9回大阪マラソンに参加してみたいですか？



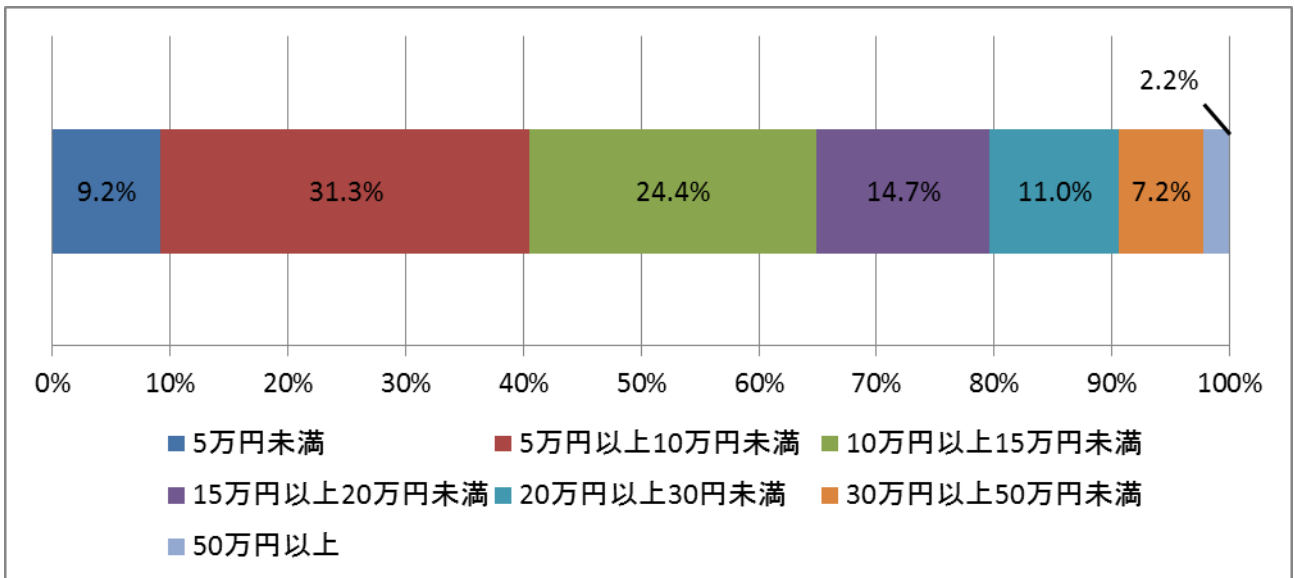
第9回大阪マラソンへの参加について、「ぜひ参加してみたい」が 45.2%（日本 85.2%）と日本人に比べて半数近く少ない。しかし、「できれば参加してみたい」が 48.3%（日本 12.9%）を加えると、93.5%（日本 98.1%）の人が参加したいと回答しており、一定のリピーターが望める。

■大阪滞在中に大阪マラソン参加以外に何か活動をしましたか？



大阪マラソン以外の活動について、「EXPO2018のイベントを楽しんだ」「大阪名物を飲食した」「大阪市内観光をした」「買い物(お土産など)をした」が約8割を占めており、スポーツツーリズムとして認知されているといえる。

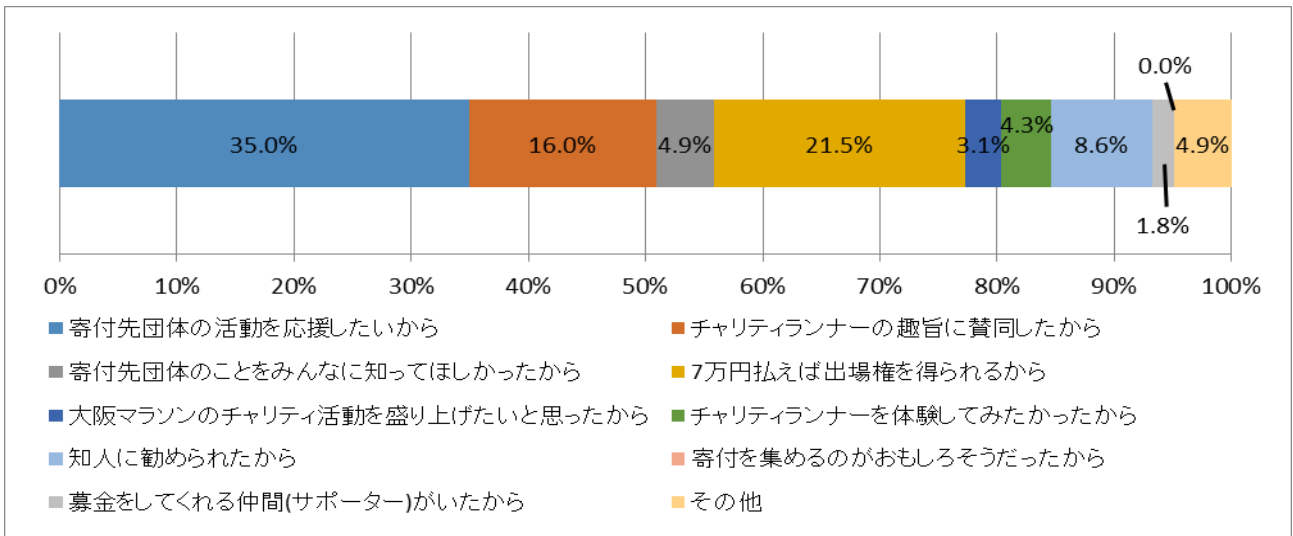
■大阪滞在中に概算でどれだけの経費を使いましたか？



滞在中の経費について、「5万円以上10万円未満」が31.3%(昨年31.1%)、「10万円以上15万円未満」が24.4%(昨年24.4%)とほとんど変化はないが、引き続き経済効果は継続しているといえる。

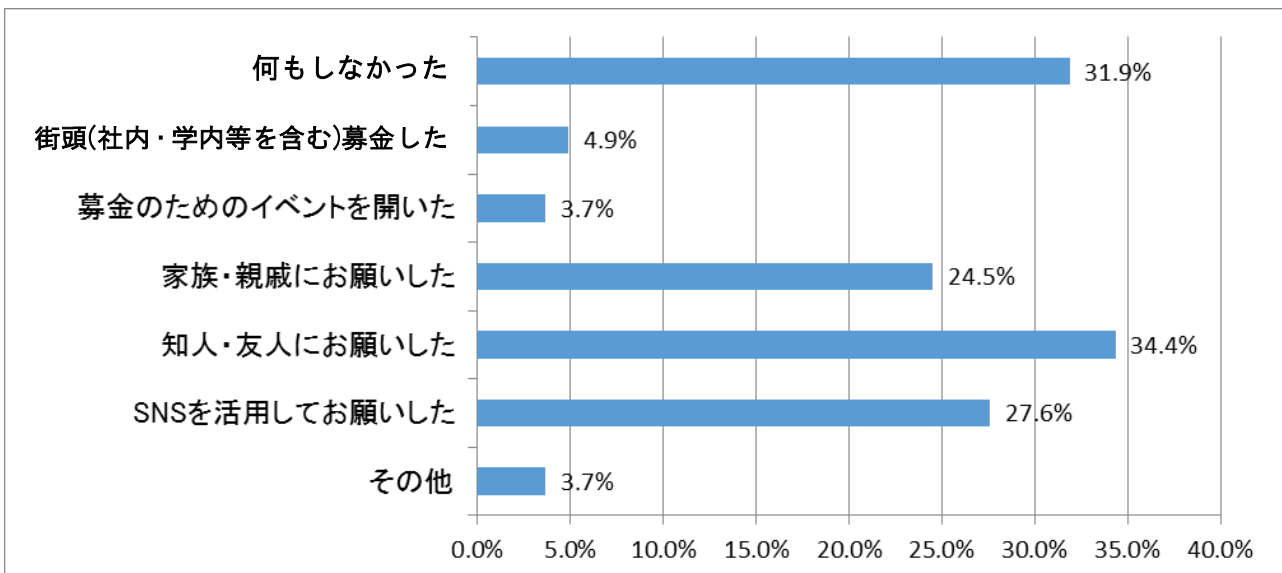
チャリティランナー意識調査

■チャリティランナーとして参加することを決めた1番の理由は何ですか？



チャリティランナーで参加する理由について、「寄付先団体の活動を応援したいから」が 35.0%(昨年 39.3%)と最も多かった。また、「チャリティランナーの趣旨に賛同したから」が 16.0%(昨年 14.5%)と昨年より上昇していることから、チャリティに対する意識が高まったといえる。一方で、「7万円払えば出場権が得られるから」が 21.5%(昨年 15.8%)と増加しており、チャリティランナーの趣旨に添わない理由が払拭できない状況にある。

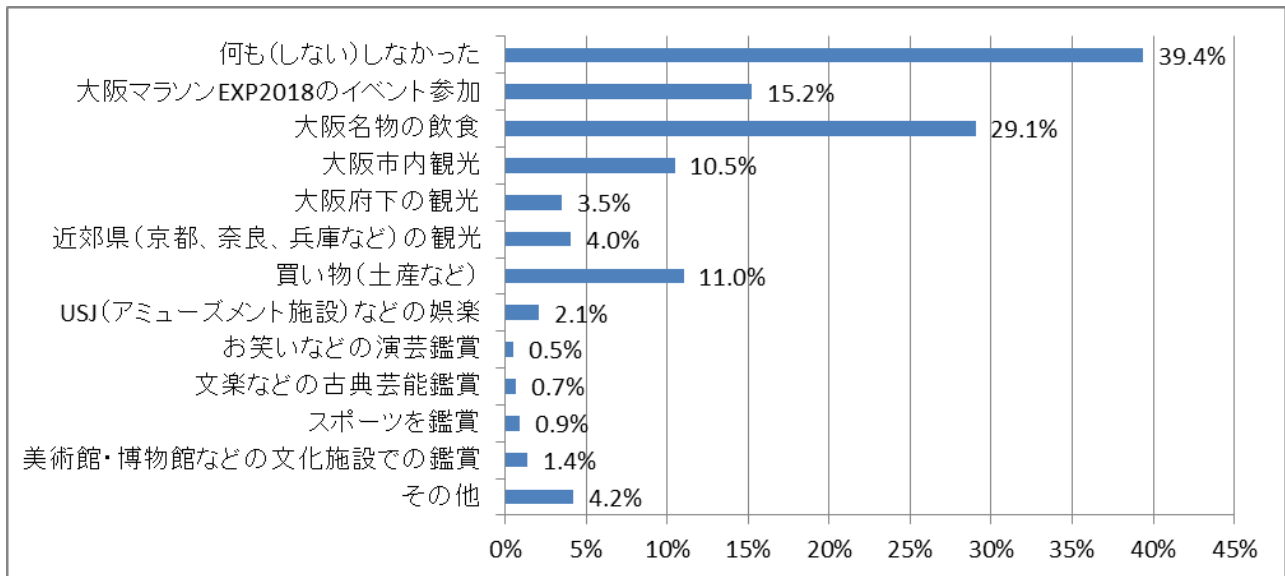
■募金活動はどのようにしましたか？



募金活動については、「何もしなかった」が 31.9%(昨年 34.6%)と昨年に比べ減少しているが、「知人・友人にお願いした」が 34.4%(昨年 37.2%)、「家族・親戚にお願いした」が 24.5%(昨年 26.9%)と、昨年と傾向は変わらず、関係者からの募金が多数を占めている。

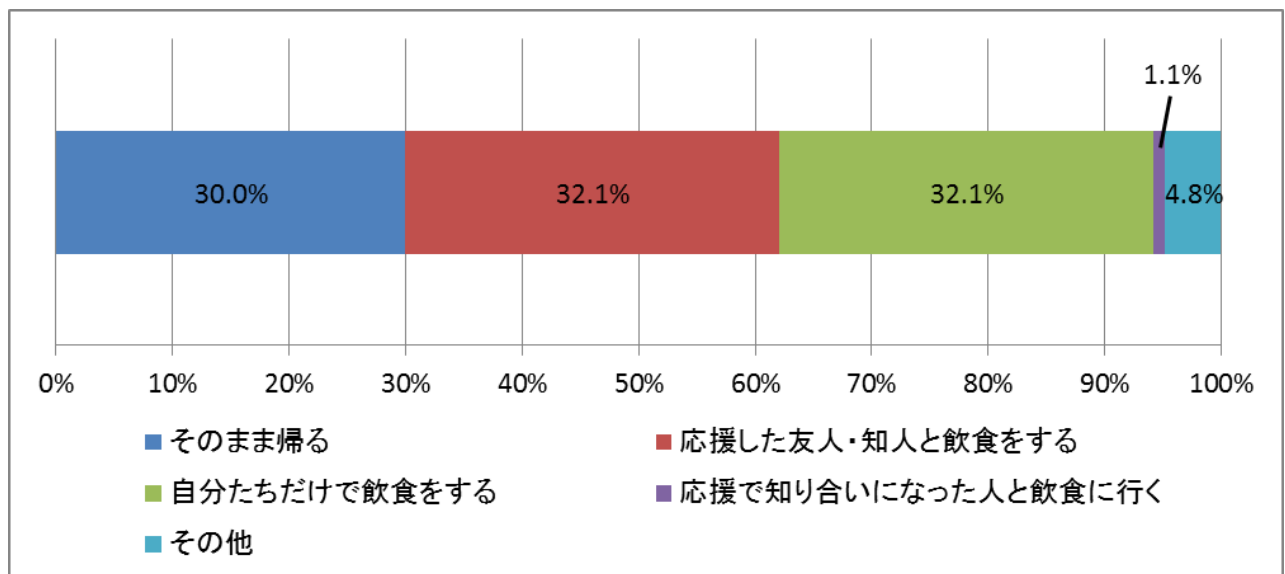
観客意識調査

■大阪マラソン観戦以外の活動は何ですか？



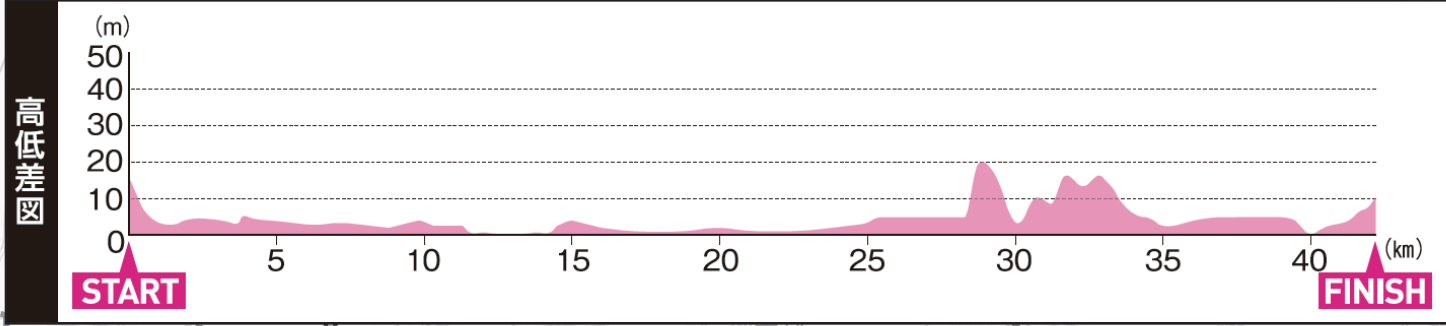
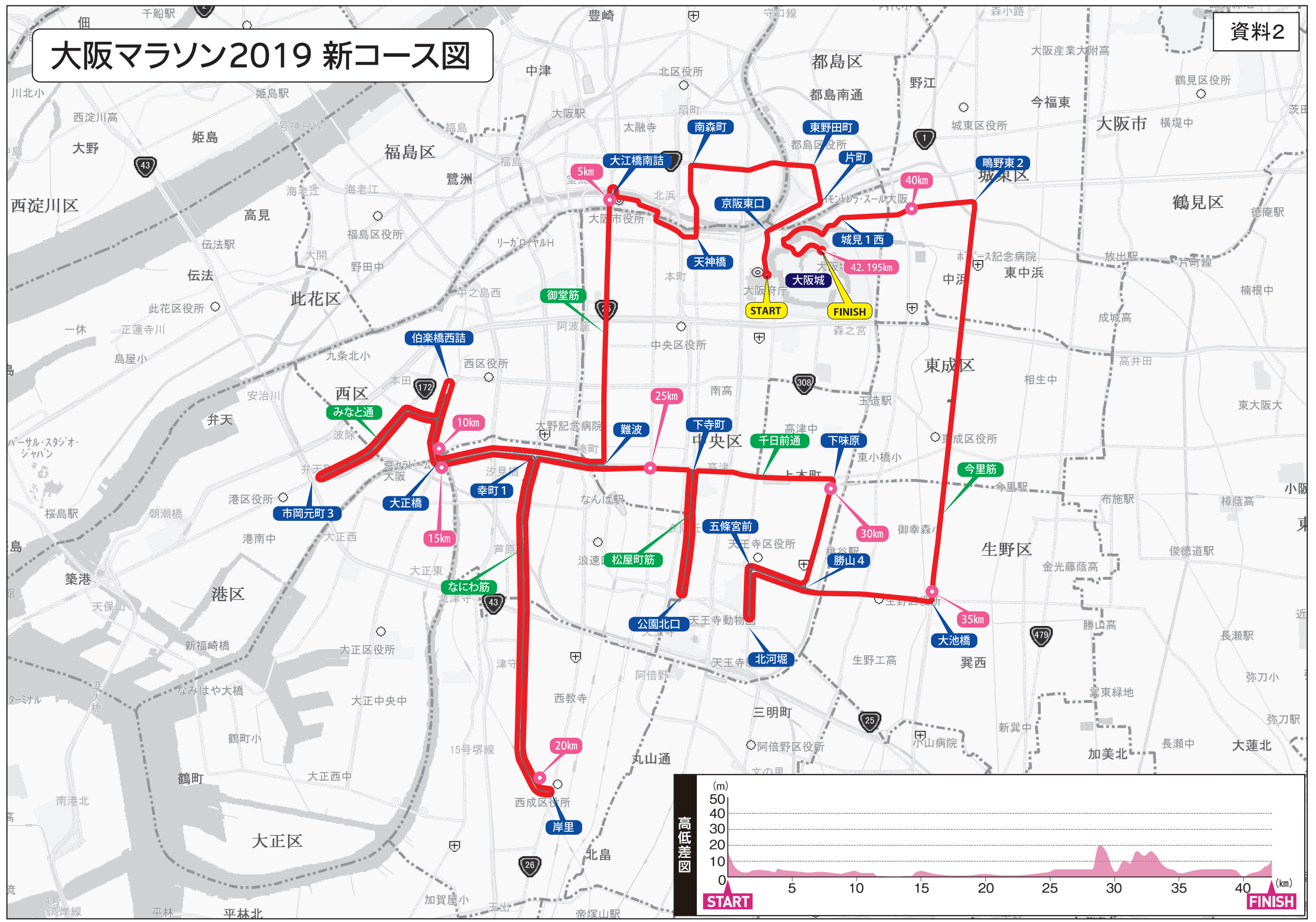
大阪マラソンの観戦以外の活動について、「何もしなかった」が39.4%(昨年50.7%)と減少しており、大阪マラソン観戦以外の活動を行う観客が増加している。主な活動として、「大阪マラソン EXPO2018 のイベント参加」が15.2%(昨年10.5%)、「大阪名物の飲食」が29.1%(昨年15.9%)などが増加傾向にあり、観戦以外の活動で経済的効果が見込まれる。

■観戦終の行動は何ですか？



観戦後の行動について、「そのまま帰る」が30.0%(昨年34.8%)と減少傾向にある一方で、「飲食をする」が65.3%(昨年59.8%)と増加していることから、観戦後の飲食で経済的効果が見込まれる。

大阪マラソン2019 新コース図



制限時間について

マラソン：調整中

車いすマラソン：2時間20分

※大阪市内中心部の走行となることから、交通規制による府民生活や経済活動への影響を考慮し、制限時間について関係機関等と調整中

ウェーブスタートについて

8：55 車いすマラソンスタート

9：00 マラソン第1ウェーブスタート

9：10 マラソン第2ウェーブスタート

9：25 マラソン第3ウェーブスタート

(時間については予定)

※ウェーブスタートとは、時間差スタートのことで、参加者を複数グループ（ウェーブ）に分けてスタートさせる方法をいう。

スタート時やコース走行中の混雑緩和や、転倒などの事故防止を図ることができるため、より安全・安心なコース走行に配慮するもの。

第9回大阪マラソン 大会要項（概要）

資料4

■大会名称 (英文名)	第9回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2019～ Osaka Marathon 2019
■主催	大阪府、大阪市、一般財団法人大阪陸上競技協会
■共催	読売新聞社
■主管	一般財団法人大阪陸上競技協会
■運営協力	大阪パラ陸上競技協会
■後援 (予定)	公益財団法人日本陸上競技連盟、大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、 大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、公益社団法人関西経済連合会、 大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会、公益財団法人大阪観光局、 公益財団法人大阪体育協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、 大阪市体育協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、 一般財団法人大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、 社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会、一般社団法人大阪府医師会、 一般社団法人大阪府病院協会、公益社団法人大阪府看護協会、 国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、 社会福祉法人読売光と愛の事業団、特定非営利活動法人大阪ライフサポート協会、 大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、株式会社毎日放送、 読賣テレビ放送株式会社 <順不同>
■メインスポンサー	株式会社ケイ・オブティコム
■オフィシャルスポンサー	ミズノ株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、 大阪市高速電気軌道株式会社 他
■種目	マラソン ①日本陸上競技連盟登録競技者 ②日本陸上競技連盟に登録していないランナー ③車いす
■開催日時	2019年12月1日(日) 8:55 車いすマラソンスタート 9:00 マラソン第1ウェーブスタート 9:10 マラソン第2ウェーブスタート 9:25 マラソン第3ウェーブスタート 11:15 車いすマラソン終了 (調整中) マラソン終了
■コース(マラソン)	大阪府庁前をスタートし、大阪城公園内をフィニッシュとする大阪マラソンコース <日本陸上競技連盟公認コース/AIMS公認コース>
■競技規則	2019年度国際陸上競技連盟(IAAF)並びに日本陸上競技連盟競技規則、 日本パラ陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
■制限時間	マラソン:調整中、車いすマラソン:2時間20分
■定員	マラソン:32,000人
■参加資格	マラソン 2001年(平成13年)4月1日以前に生まれた者 ※ 日本陸上競技連盟登録競技者については、2019年度の登録者とする。 ※ 視覚障がいのある方で単独走行が困難な方は伴走者1人をつけることができる。 (盲導犬の伴走は不可)
	①市民アスリート (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録してい ないランナー ※ 国内居住者で日本語サイトからのエントリー者に限る。 (1)、(2)ともに年代・性別毎に設定した基準タイム以内の記録(日本陸上競技連盟公認ま たはAIMS公認コースで2017年(平成29年)4月1日以降のグロスタイム)を有する者 計2,000人
	②個人 (1)日本陸上競技連盟登録競技者、(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー (3)車いす レース仕様車とする(日本パラ陸上競技連盟競技規則による) ※2017年(平成29年)4月1日以降の国内または国外の車いすレースにおいて ハーフ:1時間10分以内 フルマラソン:2時間20分以内の記録を有する者。計30人

③ペア(2人)、④グループ(3～7人)、

⑤チャリティランナー (1)日本陸上競技連盟登録競技者、

(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー

※(1)、(2)ともに大阪マラソンチャリティ制度に賛同し目標金額70,000円以上の寄付を
集めた者。

⑥大阪スポーツ応援ランナー (1)日本陸上競技連盟登録競技者、

(2)日本陸上競技連盟に登録していないランナー

※⑥(1)、(2)ともにふるさと納税制度を活用して募集期間内に、大阪府「なみはやスポー
ツ振興基金」又は大阪市「大阪市スポーツ振興基金」に10万円以上の寄附をされた方
(もしくは、寄附者が指定した方)

※ ②～⑥はいずれも、競技終了時刻までに完走できる者。

■参加料(市民/社) マラソン:国内 10,800円(国内のみ)

■参加申込(市民/社) ※期間 2019年 4月3日(水)12時から 4月5日(金)17時まで。(予定)

※方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) ※先着順(2,000人)

※チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上、
及び、事務手数料を必要とする。

■参加料(個人) マラソン:国内 10,800円 国外 13,000円

■参加料(ペア) マラソン:1ペア(2人) 30,000円

■参加料(グループ) マラソン:1グループ(3～7人まで)105,000円

■参加申込(個人・ペア・グループ共通)

(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る)

(2)期間 2019年 4月5日(金)10時から 5月17日(金)17時まで。(予定)

(3)チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上、
及び、事務手数料を必要とする。

■参加申込(チャリティランナー)

(1)方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る)

(2)期間 2019年 4月5日(金)10時から 8月30日(金)17時まで。(予定)

■参加料(大阪スポーツ応援ランナー) マラソン:国内 10,800円 国外 13,000円

■参加申込(大阪スポーツ応援ランナー)

※期間 2019年 4月5日(金)から 6月28日(金)まで。(予定)

※方法 インターネット(PC・スマートフォンに限る) ※先着順(大阪府・大阪市各300人)

※チャリティ募金については、参加料とは別に参加者1名につき1口500円を2口以上、
及び、事務手数料を必要とする。

■参加者受付 2019年 11月29日(金)・30日(土)

大阪マラソンEXPO2019会場(インテックス大阪)にて行う。

■その他

(1)チャリティプログラムの趣旨に賛同できない方の申し込みはご遠慮いただく。

(2)主催者の責によらない事由で大会が中止の場合、参加料の返金等は一切行わない。

(3)大会参加に関しては十分にトレーニングし、事前に健康診断を受診する等、体調には
万全の配慮をしたうえで参加すること。

(4)競技中の事故についての応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。

(5)本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。

- 1. 種 目** マラソン (1) 日本陸上競技連盟登録競技者
 (2) 日本陸上競技連盟に登録していないランナー
 (3) 車いす

2. 参加定員 32,000 人

(内訳) マラソン 32,000 人

- ・個人(車いす含む)、ペア、グループ 30,000 人
 ※連続落選者 4,000 人、大阪スポーツ応援ランナー600 人、
 チャリティランナー1,000 人を含む
- ・市民アスリート 2,000 人 (個人のみ (車いす除く))

(参考) 第 4 回大会まで 30,000 人 (マラソン 28,000 人、チャリティラン 2,000 人)
 第 5 回大会から 32,000 人 (マラソン 30,000 人、チャリティラン 2,000 人)
 第 9 回大会から 32,000 人 (マラソン 32,000 人)

3. 申込方法

インターネット (PC・スマートフォンのみ)
 (市民アスリート、個人 (車いす含む)、ペア、グループ)

4. 申込期間 (予定)

申込期間：4月5日 (金) 10時から5月17日 (金) 17時まで
 ※市民アスリート：4月3日 (水) 12時から4月5日 (金) 17時まで【先着順】
 ※大阪スポーツ応援ランナー：4月5日 (金) から6月28日 (金) まで【先着順】
 ※チャリティランナー：4月5日 (金) 10時から8月30日 (金) 17時まで

5. 申込区分・参加料等 ※チャリティ募金は「1口500円×2口以上」

種 目	申込区分	① 参加料	②チャリティ募金 (2口の場合)	合計金額 (①+②)
マラソン	個人 (※)	10,800円	1,000円	11,800円
	ペア	30,000円 (15,000円×2人)	2,000円 (1,000円×2人)	32,000円
	グループ (3~7人)	105,000円	7,000円	112,000円

(※) 個人には、市民アスリート、大阪スポーツ応援ランナー、車いすを含む。

(注1) ペアエントリー及びグループエントリーについては大阪マラソン記念グッズ (人数分) を用意

(注2) 当選時、別途事務手数料が必要

(1) 市民アスリート枠（定員 2,000 人）

大阪マラソンが独自に算出した年代・性別毎に設定した基準タイム以内の記録（日本陸上競技連盟公認またはA I M S公認コースで2017年（平成29年）4月1日以降のグロスタイム）を有する者。

【基準タイム】

年代	男性	女性
18～39歳	03:00:00	03:40:00
40～49歳	03:10:00	03:45:00
50～59歳	03:25:00	04:00:00
60～69歳	03:50:00	04:30:00
70歳～	04:30:00	05:10:00

(2) 大阪スポーツ応援ランナー（定員 600 人）

ふるさと納税制度を活用して募集期間内に大阪府「なみはやスポーツ振興基金」又は大阪市「大阪市スポーツ振興基金」へ10万円以上寄附いただいた方（寄附者が事前に指名した方含む）に、それぞれ先着300名（合計600名）に出走権を進呈します（別途参加料必要）。

(3) 連続落選者枠（定員 4,000 人、前回 3,000 人から拡大）

第6回・第7回・第8回大阪マラソンにインターネットで個人エントリーし、3大会連続で落選した方を、第9回大会のエントリー抽選時に優先的に抽選し、4,000人を当選とする。

この抽選で外れた方は、一般エントリーに戻し抽選する（再エントリー不要）。
種目はマラソン（個人）のみ。

6. その他

(1) マラソン（市民アスリート、第8回大会のなないろチーム対抗戦で優勝した紺組のうち抽選により出場権を有する方、チャリティランナー、大阪スポーツ応援ランナーを除く）は、定員を超えた場合は抽選を行う。

(2) 抽選結果は6月下旬に通知予定

(3) その他詳細は、2月下旬以降に大会公式HPや募集要項で周知予定

第9回大阪マラソンランナー募集ポスターについて

1. 第9回大阪マラソンランナー募集ポスターについて

大阪マラソンは、参加するランナー（3万2千人）はもちろんのこと、観る人（130万人の沿道応援）、支える人（1万人のボランティア）が一体となって行う一大スポーツイベントです。さらに、大阪マラソンをプラットフォームとして、より多くの方、様々なジャンルの方に大阪マラソンに関わっていただくとする取組みを進めています。

こうした取組みの一環として、第9回大阪マラソンのランナー募集のポスター等に使用するためのメインビジュアル(作品の中心となるイメージ画像)の一般公募を実施しました。

審査の結果、最優秀作品には、引野裕詞さんの作品が選定され、この作品をメインビジュアルとして、第9回大阪マラソンランナー募集ポスター及びパンフレットを作成します。

(資料6-1)

2. 公募の概要について

○募集期間：平成30年7月6日（金曜日）～10月31日（水曜日）17時

○応募作品数：228作品

○受賞者：最優秀作品 引野裕詞さん

優秀作品 下川基樹さん

優秀作品 松田七瀬さん

○受賞作品及び制作意図：資料6-2のとおり

第9回大阪マラソンランナー募集ポスター

※最優秀作品を第9回大阪マラソンランナー募集ポスターに補正作業済み



第9回大阪マラソン 募集期間 4月5日(金) 10時 5分 → 5月17日(金) 17時 まで

チャリティランナー 同時募集! 連続派遣者枠 4,000人優先抽選! 大館スポーツ応援ランナー 先着600人大募集!

市民アスリート 2,000人先行募集! 4月3日(日) まで

主催：大阪府、大阪市、(一財)大阪陸上競技協会
 実行：関西観光局
 共主催：(一財)大阪陸上競技協会
 協賛：(公財)日本陸上競技連盟 他

大阪マラソンコンタクトセンター 06-6445-3978
 大阪マラソンポータル 大阪マラソンポータル

第9回大阪マラソンのポスター等に使用するメインビジュアル受賞作品



最優秀作品 引野 裕詞 さん

(制作意図)

- ・"みんなでかける虹。"をメイン要素に置き、輪"O(わ)"になってみんなで支える"O"sakaマラソンという"O"をキービジュアルとした象徴的なビジュアルにしました。
- ・みんなが主役で支え合っていることイメージさせるために輪を中心に添え、元気に溢れた祭りであることを伝えるためにカラフルで華々しいイメージにしました。



優秀作品 下川 基樹 さん

(制作意図)

- ・"大阪マラソンがやってくる!!"というイメージで、躍動感とインパクトがでるように制作しました。
- ・ランナー、ボランティア、応援する人、みんなが楽しんでいる姿を表現しました。



優秀作品 松田 七瀬 さん

(制作意図)

- ・今年に入って大阪市内に引っ越した為、市内の様々な場所を知ったり行ったりする機会が増えました。
- ・大阪のいい意味でのわちゃわちゃや感、そして大阪マラソンとしてのお祭り感をなんとか一枚の絵にしてみました。
- ・楽しんで見ていただけたら幸いです。

チャリティ事業について

第9回大会では、チャリティ寄付先団体をこれまでの14団体から32団体に拡大し、大阪マラソンを通じたさらなるチャリティ文化の普及を目指す。大阪マラソンオフィシャルサイトやチャリティランナーによる寄付参加の呼びかけ以外にも、ランナーをはじめ幅広い方々がチャリティに参加できる仕組みづくりを検討する。

(1) チャリティ寄付先団体の決定

第9回大会に向け、チャリティ寄付先団体公募内容をリニューアルし、従来の大阪マラソンの7つのチャリティテーマに基づく14団体（第9回大会より「フラッグシップパートナー」と呼称）の募集に加え、新規応募枠として、多様なチャリティテーマで大阪マラソンを通じてチャリティの活動を広げる「チャレンジパートナー」を募集。

過去最高となる70団体より応募があり、①応募動機と活動状況、②チャリティプログラムへの意欲とコラボレーション企画の提案力、③告知や広報活動、④大阪での活動状況や今後の予定の4つの審査項目に基づき選考した結果、フラッグシップパートナー14団体、チャレンジパートナー18団体の計32団体を決定。（16団体が新規となる。（別添「第9回大阪マラソン 寄付先団体一覧」参照））。

(2) チャリティスキーム

ランナーエントリー時のチャリティ募金（一人2口以上（1口=500円）の口数で、支援したいチャリティテーマを選択）については、第8回大会のスキームを継続し、集まった募金は7つのチャリティテーマごとにフラッグシップパートナーに配分する。新設のチャレンジパートナーには、フラッグシップパートナー同様、各団体を支援するチャリティランナーからの募金に加え、沿道募金やチャリティグッズ販売等による募金を配分する。

(3) 大阪マラソンアンバサダーの起用（継続）

大阪にゆかりのある著名人などを「大阪マラソンアンバサダー（=大使）」として起用し、チャリティプログラムの意義などについて広くPRすると共に、寄付の呼びかけや大会の盛上げを行う。

(4) チャリティランナーの募集

チャリティ活動への理解を深め、支援の輪を広げていくことを目的に、チャリティに対する関心が特に高い方に、チャリティランナーとして参加していただけるよう、ランナー募集開始と同時にチャリティランナーを募集する。

- ◆種 目：マラソン個人（日本陸連登録競技者・日本陸連に登録していないランナー）のみ
- ◆募 集 期 間：2019年4月5日（金）10時～8月30日（金）17時（予定）
- ◆募 集 予 定 人 数：1,000人
- ◆寄 付 目 標 金 額：7万円以上（寄付先団体の中から1団体選択し、寄付目標金額は自己申告）
- ◆申 込 方 法：インターネット（PC・スマートフォンに限る）

◆チャレンジ期間：2019年4月5日（金）～10月28日（月）

（5）なないろチャリティTシャツ等の制作・販売（継続）

第8回大会に引き続き、第9回大会においても、FM802のアートプロジェクト「digmeout」がプロデュースするオリジナルデザインのTシャツ（7種類）を制作し、参加ランナーを対象に限定販売する。メディアと共同した話題提供により、チャリティプログラムのさらなる浸透を目指す。

なお、チャリティウィンドブレーカー、なないろチャリティキャップ、なないろチャリティアームウォーマー、名前やニックネームを入れたナンバーカードは、継続販売。

チャリティグッズ	販売金額（税込）／枚	寄付金額
なないろチャリティTシャツ	4,000円	製作費を除く2,000円
チャリティウィンドブレーカー	7,500円	製作費を除く3,500円
なないろチャリティキャップ	2,000円	製作費を除く売上の一部を寄付
なないろチャリティアームウォーマー	1,700円	
ニックネーム入りナンバーカード	500円	

※Tシャツ、ウィンドブレーカー、キャップ、アームウォーマーは、複数カラーの中から複数購入することが可能。（ウィンドブレーカーは1種類のみ）

（6）チャリティ募金について

- ・LIFULL ソーシャルファンディング内の大阪マラソン特設サイトの工夫
「チャレンジパートナー」の新設、寄付先団体数の拡大などを踏まえ、各団体のチャリティの活動内容がよりわかりやすく伝えられるよう調整していく。
- ・なないろハイタッチ手袋の進呈
沿道応援もチャリティの一環と位置付け、ランナーに手を振ったり、ハイタッチしながら応援するためのグッズとして、EXPO 会場や大会当日の沿道募金で一定金額以上の寄付をいただいた方に進呈する。

第9回大阪マラソン 寄付先団体一覧

●フラッグシップパートナー（14団体）

番号	チャリティテーマ (色)	主な活動内容	団体名	寄付金使用用途
1	生きる希望を支える (赤)	がん患者とその家族をサポート	認定特定非営利活動法人 がんサポートコミュニティー	大阪を中心とした関西圏在住のがん患者に対する無料の支援プログラム「大阪サポートグループ」や「患者支援プログラムを学ぶセミナー」などに活用
2		iPS細胞を用いた 再生医療・創薬の研究	京都大学 iPS 細胞研究所	優秀な人材の確保、安定的な研究活動の支援、iPS細胞研究の情報発信・普及活動、医療応用に向けた研究費など、iPS細胞を活用した新たな治療法の開発に活用
3	子どもの未来を支える (オレンジ)	生命を脅かす病気の子どもの “生きる”を支える場所	一般社団法人 こどものホスピスプロジェクト	病気の子どもたちに「体験」「経験」の場と機会づくりに活用。また、宿泊活動の充実とその環境整備に活用
4		日本で、世界で、子どもの命を守り、 子どもたちを支える活動	公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	国内外で緊急に支援を必要としている子どもたちへ支援物資の提供、教育支援、「こどもひろば」などの子どもたちのこころのケアまで、幅広い支援に活用
5	家族（子育て中の親と 若者を含む）を支える (黄)	入院中の子どもたちの 生きる力を支える	認定NPO法人 日本クリニックラウン協会	入院中の子どもが笑顔になれるように、病院の小児病棟への専門的な教育を受けたクリニックラウン（臨床道化師）派遣事業とクリニックラウン養成事業に活用
6		病児保育で大阪のひとり親、 障がい児家庭をサポート	認定NPO法人 ノーベル	大阪のひとり親家庭と、発達・身体障がいのある子どもに病児保育を提供し、安心して子育てできる環境を整えることに活用
7	大阪のまちを支える (緑)	市民主導型の新たな就業支援モデルの 提示や貧困の連鎖を断ち切る活動	特定非営利活動法人 HELLOlife	若者がつくる民間版ハローワーク「ハローライフ」（大阪市本町）における支援プログラムの拡充と多様な層に向けての就労支援サービスの提供に活用
8		子どもの貧困問題など、 地域福祉に取り組むNPO	NPO法人 み・らいず2	経済的に貧しい家庭の子どもの学びや育ちのための居場所づくりや子どもの支援ができる担い手の育成に活用
9	自然環境を支える (水)	途上国の人々に清潔な水と トイレを届ける	特定非営利活動法人 ウォーターエイドジャパン	アジア・アフリカの34か国で実施する、水・衛生支援に活用。主にインドにおける給水設備・手洗い設備の設置や修理工の育成・トレーニング、トイレの維持管理のトレーニングなどの支援活動に活用
10		身近な自然をまもる 地域の保全活動を支える	認定NPO法人 自然環境復元協会	大阪府内のフィールド（大阪城公園、高槻市芥川、枚方市穂谷の里山）での自然環境の保全・再生活動、大阪府内で活動する「おおさかレンジャーズ」の活性化と自立に向けた発展のため、隊員数と活動数を増やす取り組みに活用
11	スポーツ・文化 を支える (紺)	まちを走ってパトロール！ パトランで安心なまちづくり	NPO法人 改革プロジェクト	大阪でのパトラン（防犯パトロール）チームの設立と定着、パトラン情報集計のシステム化や子どもへの被害防止のための小学校と連携した子どもパトロールプログラムの展開、防犯活動の推進、啓発パンフレットの制作などに活用
12		市民プールで障がいのある すべての子どもに水泳指導	認定NPO法人 プール・ボランティア	「ヘルプマーク・スイムキャップ」（援助や配慮が必要だと周囲に知らせる「ヘルプマーク」をプリントしたスイムキャップ）や「重度身体障がい者用浮き具」の製作と普及、プール用車椅子の製作、他のNPOとのコラボレーションした活動などに活用
13	美しいまちと 暮らしを支える (紫)	東日本大震災で失われた海岸林を 再生	公益財団法人 オイスカ	津波で失われた宮城県名取市の海岸100haの再生のためクロマツ50万本の育苗や、被災地住民の生計支援・雇用などに活用
14		みんなで取り組む、まちの美化活動と 素敵なまちづくり	特定非営利活動法人 green bird	関西エリアのチームの活動にかかる備品購入費用（ピプス製作費、ごみ袋製作費、トンク購入費）や日本のごみ拾い文化発信にかかる活動などに活用

●チャレンジパートナー（18団体）

番号	活動テーマ	主な活動内容	団体名	寄付金使用用途	新規団体
1	小児がんの子どもたちの支援	小児がん経験者のQOL（生活の質）の向上のための支援、小児がん克服のための治療研究助成	認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク	小児がん経験者への大学・専門学校等在学中の奨学金給付や小児がんの治療研究助成に活用	○
2	聴覚障がいのお子さんに笑顔 を未来を～情報保障とコミュニケーションの融合～	聴覚障害者に対する「パソコン文字通訳サービス」の提供や初等中等教育現場に特化した支援活動	認定特定非営利活動法人 長野サマライズ・センター	聴覚障がい家族・学校の先生・行政福祉担当などへの相談会、支援サービス体験、聴覚障害理解や啓発活動、文字通訳サービス、プログラム開発、ろう児への授業実施に必要な教材制作に活用	○
3	ラオス・ルアンパバン県 における子どもの生活環境 改善事業	ラオスでの子どもの生活環境改善事業や 国内外の災害復興支援	認定NPO法人 日本ハビタット協会	ラオスのルアンパバン県で実施している子どもの生活環境改善事業に活用	○
4	生きる希望を支える	海外での医療活動や医師・看護師育成、 国内の小児がんと闘う子どもと家族の外出・ 旅行サポート	特定非営利活動法人 ジャパンハート	国内の小児がんと闘う子どもと家族の外出・旅行サポート事業「Smile Smile Project」に参加する子ども（患児）とご家族にかかる費用、カンボジアのジャパンハートこども医療センターでの小児がん患児への治療費に活用	○
5		がん体験者・家族への支援・交流事業、がん に関するセミナー、栄養教室・運動などのイ ベント、健康回復支援の活動	特定非営利活動法人 つながりひろば	大阪がんセンターと連携したがん患者支援活動をベースに「がんと向き合う人たちの安全・安心ランニングセミナー」の開催、ジョギングフェスティバルの開催、がん予防・啓発の各種イベント開催など、活動に必要な環境整備や人材（相談員・ボランティア）養成に活用	○
6		インスリン注射が必要な患者とその家族が 希望を持って生きられる社会の実現をめざ した活動	認定特定非営利活動法人 日本IDDMネットワーク	1型糖尿病の根絶（＝治療＋根治＋予防）に向けた研究費への助成、1型糖尿病患者への奨学金支給、起業支援の基金を創設しこの病気でハンディキャップを持つ子どもたちを支援する活動に活用	○
7		途上国の中高生に対する映像を活用した 中等教育による教育格差是正の支援	特例認定NPO法人 e-Education	持続発展可能な教育支援モデルの確立をめざし、教材制作や映像授業を中心とした教育支援、ワークショップなどの実施に活用	○
8	子どもの未来を支える	ウガンダとケニアのエイズ孤児を抱える 母子家庭の貧困問題解消	特定非営利活動法人 エイズ孤児支援NGO・PLAS	ウガンダとケニアで、エイズ孤児を抱える母子家庭の生計向上・自立をめざし、仕事の研修提供やスタートアップ支援、母子へのライフプランニングのカウンセリングの提供などにより、エイズ孤児の未来を支える活動に活用	○
9		バングラデシュ・ネパール・日本において「子 どもの権利を守る」や「災害に強い地域づく り」を重点分野に、社会のさまざまな制度や 仕組みから「取り残された人々」を支援	特定非営利活動法人 シャブラニール＝市民による海外協力の 会	子どもたちの未来のために、バングラデシュで運営している家事使用人の少女たちの支援センターの運営、家事使用人の実態をバングラデシュ国内で伝えるコミュニティラジオの番組制作、啓発活動や日本国内での講演会に活用	○
10		開発途上国の子どもたちにワクチンを贈り、 子どもたちの笑顔と未来を守る活動	特定非営利活動法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会	開発途上国の子どもたちの命と健康を守るためのワクチンおよび関連機器の購入、団体の認知および活動の啓発活動に活用	○

11	子どもの未来を支える	「子どもの教育が世界を変える」を信念に、「識字教育」と「女子教育」に焦点をあて、途上国にいる子どもの教育支援を行う	認定NPO 法人 ルーム・トゥ・リード・ジャパン	支援国での「女子教育プログラム」（ライフスキル教育、教育を受けたロールモデルとなる女性を派遣するメンター制度、必要に応じて教育に関わる費用の支給、家族、学校、地域社会との協働）の活動に活用	○
12	家族（子育て中の親と若者を含む）を支える	若年無業の状態にある若者たちへの就労支援	認定特定非営利活動法人 育て上げネット	経済的に厳しい状況にある若者に支援を提供する「若者・就労応援パッケージ」や生活困窮状態にある家庭の子どもたちに学習機会と居場所を提供するプログラムなどに活用	
13		人権状況の調査やメディアを活用した提言、国内の児童養護施設に暮らす子どもの権利保護	公益財団法人 日本ヒューマン・ライツ・ウォッチ協会	児童養護施設に暮らすすべての子どもたちに幸せな家庭を保障するための活動として、里親推進のための啓発活動などに活用	○
14	大阪のまちを支える	奨学金貸付、寄付金を活用した育英特別事業（夢みらい奨学金給付事業、大阪府立支援学校への教育機材の寄付）	公益財団法人 大阪府育英会	経済的理由により学習機会に恵まれない中、自らの得意分野を活かし、スポーツ・文化・芸術等で努力する府内高校生を支援し、大阪・日本の未来を担う人材育成を目的とした「夢みらい奨学金」の給付原資及び寄付先団体としての活動経費に活用	○
15		自殺防止の電話相談や自死遺族のサポート、相談員養成講座などの研修事業	認定NPO 法人 国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター	こどもや若者たちが相談できる居場所づくり（SNS相談室の設置）、研修プログラムの充実や大学との連携を図り、講座プログラム充実や講師派遣に活用	
16		LGBT も働きやすい職場、生きやすい社会をテーマに活動し、LGBT に関するデータづくり、LGBT 研修実施や教材づくり	特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ	LGBT に関する専門機関として、社会にデータを提供し続けるための活動、LGBT 支援事業の拡大に活用	○
17		大阪市西成区における、安心して子育てができる地域づくり	わか町にしなり子育てネット	子育て・子育て情報発信ステーション「びよちゃんネット」でのサポーター充実、配慮を要する家庭等への支援の強化、「こども食堂」開設拡充、既存「こども食堂」利用の促進、子どもの居場所づくりに向けた活動に活用	○
18	美しいまちと暮らしを支える	定年退職後の高齢者がいきいきと生活できる地域社会づくりに向け、「デザインのカで社会を変える」をミッションとする、多分野の個人・団体とのコミュニティ形成や社会課題の解決	NPO 法人 Co.tohana	新規会員募集のための広報強化、スキルアップ講座の実施、多様なチーム活動を生む支援など活動を広げることで、大阪市民の暮らしの基盤を支えるネットワークづくりに活用	○

※同時申し込み団体（No.4～16,18）については、フラッグシップパートナー枠にて選択したチャリティテーマ（第一希望）を活動テーマとして記載。

ボランティアについて

■活動内容

活動日等	活動内容
大阪マラソン EXPO2019 前日準備 11月28日(木)	ランナー配布物の袋詰め(受付準備)
大阪マラソン EXPO2019 11月29日(金)、30日(土)	ランナー受付、会場案内、総合案内
第9回大阪マラソン 12月1日(日)	コース沿道整理、給水・給食、手荷物預かり・返却、 完走記念メダル配布、観客の案内誘導、ランナー救護受付、 自転車の運搬補助(力持ちボランティア) など

■募集内容

区 分	団体ボランティア	個人ボランティア
定 員 ※変更となる場合あり。	10,000人	
申込単位	1団体につき10人以上	1～5人
要項発表	5月中旬予定	
申込受付開始	6月上旬予定 ※ 先着順。定員になり次第締切り。	7月中旬予定 ※ 先着順。定員になり次第締切り。

■支給物品

ウェア・キャップ など

※ 報酬・食事・交通費の支給はなし。

マナーアップの取組強化について

第9回大会では、セントラルフィニッシュの導入により、コースが大幅に変更されることに加えて、フルマラソンの定員の増加が図られることから、ランナーの走行等に際して一層の安全の向上を図ることが重要である。

また、外国からのランナーや応援者が増えていく中、内外にさらなる大阪の魅力を発信していくためには、見ていて気持ちの良い大会づくりをめざしていく必要がある。

さらには、沿道周辺の住民や事業所の方々には、コースの変更等により、新たに、又は引き続きご不便をおかけすることから、これまで以上に大阪マラソンに対してご理解ご支援をいただくことのできるよう努めていかなければならない。

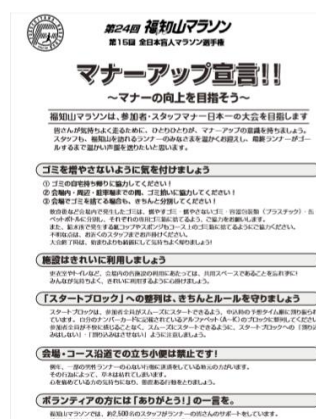
こうした課題に対し、組織委員会として様々な取組を進めていくこととするが、その一環として、ランナーのマナーアップの取組の強化を図るものとする。

具体には今後検討を進めるものとするが、HPなどの広報媒体を通じて、次のような事項について周知・啓発の強化を図ることとする。

○ランナーのマナーアップに向けて周知・啓発を図る事項(例)

- ・沿道住民・事業所の理解を得ることの重要性とそのためのマナーアップの必要性
- ・トイレ使用の注意(特にやむを得ず沿道店舗等のトイレを使わせていただく場合)

他



(例) 福知山マラソン



(例) 神戸マラソン

今後の主なスケジュールについて

- 4月 3日（水）（予定） ■市民アスリートエントリー開始
（～4/5(金) 2,000人 先着順）
- 4月 5日（金）（予定） ■ランナーエントリー開始（～5/17(金)）
■大阪スポーツ応援ランナー募集開始
（～6/28(金) 600人 先着順）
■チャリティランナーエントリー開始（～8/30(金)）
- 6月 ■ボランティア（団体）募集開始
■大阪マラソン公式ランニングイベントの開催(30日(日))
（ヤンマースタジアム長居）
■沿道応援イベント参加者募集開始
●大阪マラソン組織委員会（第27回）
- 7月 ■ボランティア（個人）募集開始
- 10月 ●大阪マラソン組織委員会（第28回）
- 11月 ■商店街等との連携によるPR展開〈予定〉
- 11月29日（金） ★大阪マラソンEXPO2019（インテックス大阪）
（～11月30日（土））
- 11月30日（土） ★大阪マラソン公式ランニングイベントの開催
★ウェルカムパーティー
- 12月1日（日） ☆「第9回大阪マラソン
～OSAKA MARATHON 2019～」開催
★沿道応援イベント開催
- 通年開催 ★大阪マラソン公式練習会の開催
★大阪マラソン公式ランニングクリニックの開催